

東京凌霜謡会 2022 (令和 4)年の活動状況

2022 (令和 04)年

1月19日 1月20日に首都圏1都3県に「まん延防止等重点措置」の適用が確実となりました。これに伴い、東京都知事等から住民に対して「不要不急の外出」や「都府県を跨ぐ移動」の自粛等の要請が発出される予定です。措置の期間は1月21日から2月13日の予定です。これに伴い、1月22日に開催予定であった第761回1月例会は中止としました。なお、2月例会(2月26日予定)については現時点では、「開催」の方向で準備を進めます。

2月10日 首都圏を中心に適用指定された「まん延防止等重点措置」(1月21日～2月13日)が3月6日まで延長されました。また、2月例会の参加可能者が4名以下となることが確定したため、2月例会(2月26日予定)は中止します。

3月26日 1月～2月の例会は首都圏が「まん延防止等重点措置」地域に指定されていたため、月例会を中止にせざるを得ませんでした。3月22日に全面解除されたため、3月26日に万全の感染防止対策のもと、本年最初の例会を東京六甲クラブで開催しました。参加者は6名と少人数での開催となりましたが、予定通り「絵馬」「碇潜」「熊野」「隅田川」「春日龍神」の5番の素謡を楽しみました。

この間2月27日に会員の西山孝之さんが逝去され、恒例の付祝言に代えて追加で「江口」のキリを謡って同氏のご冥福を祈りました。同氏は大学創業後に謡曲を習われ、2015年2月例会から当会に入会されて、以降殆どの月例会及び終了後の懇親会に参加され、幅広い知見を会員の皆さんに示されました。また、ご本人の開設されたホームページ「謡曲の世界」を「神戸大学謡曲愛好家広場」にリンクして頂き、能・謡曲以外の研究成果を發表されました。ご冥福をお祈りいたします。

「能・謡ひとくちメモ」は番組の「熊野」「隅田川」に因んで第13話「牛飼車寄せよとて～何となく謡うと～」と第11話「小謡と禁忌・かざし～祝儀・不祝儀の謡～」を配布しました。

4月23日 3月例会に続き、4月23日に4月例会を開催しました。参加者は7名で、予定の「国栖」「忠度」「草子洗小町」「盛久」「鶴」の5曲の素謡を謡いました。「能・謡ひとくちメモ」は番組の「草子洗小町」に因んで第9話「草子洗小町の雑学」と第22話「草子洗小町の雑学 遺稿～万葉七千首のこと」を配布しました。

5月28日 5月28日に5月例会(第763回)を開催しました。参加者は6名で予定の「白楽天」「頼政」「杜若」「小袖曾我」「夜討曾我」の5曲の素謡を謡いました。「能・謡ひとくちメモ」は、番組の「頼政」に因んで第26話「『頼政』クリのこと～クリの異型をめぐって」を配布し、「頼政」のクリの特異性を確認しました。併せて「全国大学学生・OB・OG 能楽連合会」主催の謡会(7月2日)にエントリーした連吟「忠度」の第1回地合わせを行いました。

6月18日 6月18日に6月例会(第764回)を開催しました。参加者は7名で予定の「邯鄲」「自然居士」「芭蕉」「葵上」「雷電」の5曲の素謡の後、連吟「忠度」お2回目の地合わせをして17時前に解散しました。「能・謡ひとくちメモ」は、第21話「植物と謡曲」を配布し、植物の名が直接曲名になっているものの殆どが3番目・4番目ものであることなどを確認しました。

また、大学能楽部の現状(部員数1名で消滅の危機にあること)と部室の対応についての報告に基づき、今後の対応は関西の凌霜謡会に一任することの了解を得ました。

7月16日 7月16日に7月例会(第765回)を開催しました。参加者は6名で、予定の「東方朔」「通盛」「井筒」「花筐」「融」の5曲を謡いました。「能・謡ひとくちメモ」は今回配布なしです。

「東京凌霜謡会に関する要望」を配布し、2023年の希望曲と会の運営等に関する要望の提出をお願いしました。

なお、7月2日(土)、全国大学学生・OB・OG能楽連合会主催の謡会(於、矢来能楽堂)に5名で参加し、連吟「忠度」を謡ったことを報告しました。

8月27日 8月28日に8月例会(第766回)を開催しました。参加者は6名で予定の「江野島」「敦盛」「楊貴妃」「三井寺」「安達原」の5曲を謡いました。恒例の「能・謡ひとくちメモ」は番組の「安達原」に因んで、第29話「安達原の鬼女」～続・能謡への近づき～を配布しました。

今回提出された「東京凌霜謡会に関する要望」(含む、2023年の例会希望曲)に基づき、2023年の例会で謡う曲を年間番組表(案)にまとめて9月例会に提案の予定です。

コロナ感染拡大の影響を受け、中断していた「第2回三大学卒業生謡会」を本年12月4日に東京六甲クラブで開催すべく準備を進めています。(今回幹事は大阪市立大学「香謡会」)当東京凌霜謡会も参加者を確定し、担当曲の合同素謡1曲と連吟1曲の曲目とお役を9月例会で協議・決定し、地合わせを2～3度行う予定です。

9月25日 9月24日に9月例会(第767回)を開催しました。参加者は7名で、予定の「道明寺」「松虫」「松風」「通小町」「紅葉狩」の5曲を謡いました。恒例の「能・謡ひとくちメモ」は第20話「急の代役」を配布しました。

また、2023年の年間番組表(案)を提示し、HPに掲載された「神戸大学能楽部の片づけ」の状況を説明しました。更に「第2回三大学卒業生謡会」での合同素謡に「融」、連吟に「紅葉狩」を選定しそれぞれのお役を決定しました。

なお、次回10月例会の出席予定者を確認したところ、極めて少数であり、日程調整も困難であることから、残念ながら、10月例会は中止することにしました。

11月29日 去る11月26日(土)に11月例会(第768回)を開催しました。世話人(向濱)が都合により欠席となったため山本秀人氏にその代役をお願いし、5名(敬称略:上野山・高橋・谷村・山本・伏見)の参加を得て、恒例の東京六甲クラブで実施しました。今回は①参加人数が少ないこと②「三大学卒業生謡会」を目前に控え、当会のテーマ曲のお稽古もしておきたいこともあり、当初予定の番組を大幅に変更して、素謡3曲(「融」「龍田」「葛城」と連吟「紅葉狩」)を謡いました。

12月24日 12月24日(土)に12月例会(第769回)を開催しました。参加者は6名(敬称略：上野山・清見・谷村・山本・伏見及び向濱)で、予定の素謡5番(「難波」「忠信」「巻絹」「鉢木」「山姥」)を謡って、2022(令和4)年の謡納めとしました。恒例の「能・謡ひとくちメモ」は第20話「急の代役」を配布しました。また、2022年12月25日現在の「東京凌霜謡会会員名簿」と「2023(令和5)年年間番組予定表」(確定版)を配布しました。

山本さんから、12月4日(日)に3年ぶりに開催された「第2回三大学卒業生謡会」についての報告がありました。当会からの出席者は、(敬称略)谷村・山本・伏見の3名でした。概要は、ホームページの「投稿/活動報告」に記載されています。次回は2023.12.3(日)の一橋大の幹事で開催予定です。